

## 海津木苑運営委員会（平成30年度4月期）

## 会議録

1. 日時： 平成30年4月23日（月）14時55分 開会  
 2. 場所： 古賀市海津木苑 会議室

## 3. 出席委員（14名）

委員長	結城 弘明	副委員長	清原 留夫
委員	智原 和子	委員	簗原 弘二
委員	奴間 健司	委員	田中 英輔
委員	安武 正一	委員	清原 透
委員	三好 収	委員	池見 直喜
委員	森 里子	委員	横田 昌宏
委員	松尾 佳久	委員	足立 英樹

## 4. 欠席委員（なし）

## 5. 傍聴者数（1名）

## 6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	清水 万里子	環境課長	智原 英樹
海津木苑長	吉田 義昭	海津木苑係長	国本 勝喜
海津木苑職員	三好 英明		

## 概要

14:55 開会

- 古賀市あいさつ
- 委嘱書交付
- 事務局自己紹介
- 委員長あいさつ
- 協議事項及び報告

## 1) 会議録について（事務局より説明）

(1) 平成29年度2月臨時運営委員会会議録

資料.1-1

(2) 平成29年度2月期運営委員会会議録

資料.1-2

(3) 平成30年度4月期運営委員会会議録署名

(結城委員長・安武委員)

【質疑・意見】 なし

2) 海津木苑運営に関する実施状況 (事務局より説明)

(1) 平成 29 年度年間処理状況について 資料.2

[質疑]

委員 : 2016 年度の実績との比較検証した時に、2017 年度と 2016 年度では特に違う数値、特記事項などがあれば参考までに教えていただきたい。

[答弁]

海津木苑長 : 2017 年度と 2016 年度の搬入量を比較すると 179.5 kl 減少している。減少の理由としては、米多比区、薦野区の農業集落排水へのつなぎ込みのため、生し尿は減少し、浄化槽汚泥は全量引き抜きのため 2017 年度は増加している。

薬品の使用料金が、2016 年度が約 756 万円、2017 年度が約 900 万円となっており、2017 年度が約 150 万円高くなっている。使用料金の増加の要因としては、前年度よりポリテツ E と苛性ソーダの使用量が増加している。原因としては、COD の値が上昇したことにより、ポリテツ E の使用が増加、またポリテツ E が注入されると pH 値が下がり、苛性ソーダで pH 調整のため使用し増加している。

[要望]

委員 : 数値については、資料を見れば解るが、2017 年度の全体の数値が出たときに、2017 年度が総括的な見解、ポイントあたりを補足、説明し、2016 年度と比較したときに、今説明したことが、ポイントになるのではないか。数値の説明だけでなく、前年度と比較して、2017 年度の運転管理や処理状況などの問題点、改善点、特記事項を含めた説明をいただければ、運転管理状況が分かりやすくなるのではないか。

[要望]

委員 : 時期的に、海津木苑施設管理運営に関する協議があるが、数値の報告だけでなく、数値に係る資料や説明があれば、区民も理解が深まり、より身近に海津木苑を感じるのではないか。

[答弁]

海津木苑長 : 検討していきたい。

3) 海津木苑臭気測定結果について 資料.3-1 資料.3-2 (事務局より説明)

[質疑・意見] なし

4) 海津木苑施設等啓発について 資料.4 (事務局より説明)

[質疑]

委員 : 新転任管理職教育関連施設視察研修は写真だけの報告のみで、意見、感想等なかったのか。

[答弁]

海津木苑長 : 新転任管理職教育関連施設視察研修ということで、9時40分から10時40分まで施設の説明を行った。施設説明終了後、感想などの意見を求めたが、なかった。

[質疑]

委員 : 以前の勤務先が古賀市教育委員会に在籍していたことがあり、当時とほとんど変わらない印象があり、学校の先生側から、し尿処理施設啓発について発信していかなければならないと感じている。研修の中で意見や感想などがなければ、研修を行う意味がないと思う。もっと大事に教育関連施設視察研修に取り組んでほしい。

学校全体で考えて取り組みを行わないと、学校の施設見学など、学校の管理職の方がどう考えていくのか、どうするべきかがないと、啓発がうまくいかないと感じる。

[答弁]

海津木苑長 : 施設研修後、アンケートなどを取っているか、学校教育課に連絡し、感想などなかったのか聞きたい。アンケートの結果報告があれば、次回の運営委員会で報告したい。

[提案]

委員 : 海津木苑の施設啓発予定について質問する。食の祭典、まつり古賀での啓発の取り組みには、感心している。食の祭典は、この食品加工団地内で毎年開催されていることから、今年の1月25日に古賀市長から新し尿処理施設建設のお願いがあったことから、し尿処理施設に関して、地元区民の意識を高めなければいけないことと、地元区民一人ひとりが受け止めなければならないと思っている。

食の祭典に関して言えば、昨年从小牧公園の除草作業と樹木の消毒を地元区民がボランティアで行っている。できたら、地元区民に海津木苑から一緒に啓発を行う旨のチラシなどを作成し回覧をしていただけたら、海津木苑の職員だけで啓発を行うのではなく、育成会等にも啓発に参加していただけるように声をかけていき、地元区民全体で啓発の取り組みが出来たら、啓発の一環ではないかと考える。

[提案]

委員 : 旧し尿処理場において、当時の状況や撤去・移転の問題の学習会を海津木苑の職員と当時、関わった方々で開催してみてもどうか、当時を振り返ることで、原点に戻り、また違った視点で啓発ができるのではないかと考える。

【答弁】

海津木苑長： 貴重なご意見に感謝する。内部で協議を行い、旧し尿処理施設の当時の状況、撤去・移転問題のお話をお聞きしたい。

5) 平成 29 年度施設整備状況及び平成 30 年度施設整備計画について 資料.5  
(事務局より説明)

【質疑・意見】 なし

6) 海津木苑将来構想について (事務局より説明)  
【質問・意見】

副委員長： 将来構想について、古賀市、環境課なり海津木苑はどう考えているのか。私としては、古賀市長から海津木苑が建っているこの場所においてお願いをされたが、新し尿処理施設建設にあたっては、協定書を取り交わす事が先ではないのかと以前から言っていたが、協定書を取り交わす事が曖昧な気がする。協定書を取り交わしてから、将来構想の話ができるのではないか。

【答弁】

環境課長： 将来構想の協議については、協定書を取り交わす事が先ではないのかという意見については、副委員長が以前より言っていたが、内部で検討を行っているところではある。次期し尿処理施設建設にあたってはまず、地元区のご理解、ご協力が必要だと思っている。今年度、地元区役員の方が少し変わられる中で、運営委員会を迎えるにあたって、地元代表者と協議が出来ていない。4月 26 日に地元代表者等協議を行う予定になっており、協定書の取り扱いや今後どのようなタイミングで協定書等の取り交わしを行うかなど、地元代表者の皆様とスケジュールを合わせて、協議、相談をさせていただいている。

代表者会議の日程や協議内容等を相談させていただいている状況である。今後、運営委員会においては、代表者会議の内容を適時報告させていただきたい。

【意見】

委員： 補足で、運営委員会において、将来構想についての議事、報告事項を入れていただければ、進捗状況がわかるのではないか。

代表者会議の日程は、報告でもあるように、日程調整だけの報告だけになっており、強引でもいいから、日程調整を行い、協議を行わないと、地元区としても、足並みが揃わないのではないか。地元区の総会で報告を行い、ご理解は得ているが、代表者で方向性は決めていかなければならない。地元区民にしっかりと発信を行い、報告、説明をしなければならない。今のままでは、地元区としては協定書等の協議は行ってはいるが、スピード感が足りないのではないか。協議を進めていただき、進捗状況と課題を運営員会で報告を行っていただき、将来構想の進め方を行ってほしい。

旧し尿処理場において、当時の状況や撤去・移転の問題の学習会の日程を調整し、

開催していただきたい。

[意見]

委員 : 海津木苑将来構想の名称、表現だが、前回の運営委員会で次期し尿処理施設について、方向性を決めたのであれば、いつまでも海津木苑将来構想の名称を使うのではなく、次期し尿処理施設の整備計画についてなど、名称を変えたほうがいいのか。

[答弁]

環境課長 : 6) 海津木苑将来構想についての議題については、内部で検討させていただき、今、提案いただいたように、一歩進んだところで、今後、新し尿処理施設建設に向けて等、名称を検討させていただき、次回の運営委員会では、名称を変えることを前提に検討させていただきたい。

[意見]

委員 : 基本的な方針として、次期し尿処理施設の整備計画についてなど名称の検討をしていただきたい。

地元代表者会議の内容については、次期し尿処理施設の在り方となれば、進捗状況については報告など必要ではないかと考える。名称については、適切な表現にさせていただくよう検討し、運営委員会で報告を願う。

[意見]

委員 : 数字の報告を中心によくまとめられていると思う。ただ、数字の報告で終わっている気がする。主管である海津木苑の職員が様々なし尿処理の運営に関して、取り組みを行っていただいた結果、統括的な所感の報告がされていない。

処理運営等について取り組みを行った結果、課題、今後の処理運営に活かす取り組み内容などの報告があれば、より分かりやすい報告になるのではないか。

[答弁]

海津木苑長 : 貴重な意見に感謝する。内部で協議を行い可能な限り報告を行いたい。

## 6. その他

[要望]

副委員長 : 4月の人事異動により、市民部長、海津木苑長が変わられているが、今日の運営委員会でし尿処理に係る様々な意見等出されましたが、今日の意見も含めて海津木苑運転管理、新し尿処理施設建設に向けての決意などを伺いたい。その理由としては、海津木苑18期運営委員会は今日で最後になる。次回、19期運営委員会が始まる前に聞いておきたい。

海津木苑の啓発はどうだったのか。海津木苑に係る啓発協議が5月か6月に開催される予定となっているが、他市町村で差別事象が発生している。古賀市において

は、様々な啓発を行っていただいております、今日の運営委員会で様々な課題、意見等出されたが、運転管理、啓発も含めて決意を聞きたい。

[答弁]

市民部長 : 決意ということで、私の過去のことから述べさせていただくと、委員のほうから旧し尿処理施設のことがあったが、昭和40年代後半に在籍していた小学校で、私の友達や仲間が差別を受けたり、差別を行ったりと旧し尿処理施設に係る差別事象があった。当時の私は同和問題を考えたこともなかったわけだが、やはり当事者は辛い思いをしたりしただろうとしか思っていなかった。

そうした経緯を経て、現在の海津木苑が建設されたわけだが、建設にあたっては、いろいろな所で迷惑施設のようなものはいないという地域があるなかで、地元区が人権問題と捉え、また命を営んでいく上で、大切な施設なんだという認識の中で何度も何度も協議を重ね、大変重い決断だったと思う。

また海津木苑においては、人権啓発の柱として役割を担っているところである。海津木苑が持っている性質上、「排育」であるとか、立地の場所が絶対に公害を出さないという決意の中で管理運営がなされているが、新し尿処理施設に建て替えになっても、啓発においても継続して取り組んでいくことが大事なことを考えている。

今後も海津木苑はあと4年数か月あるが、啓発については、古賀市は海津木苑があるからこそ、人権啓発が進んでいると考えている。これらのことを柱に今後とも啓発をしっかりと行っていくつもりである。

[答弁]

海津木苑長 : 決意だが、海津木苑に私が昭和59年に入庁して、小学4年生の施設見学が始まったが、当時としては、施設見学だけで、啓発というものは行っていなかった。施設見学当初は、児童が鼻をハンカチで抑え、そのハンカチには香水が振りかけてあった。当時はし尿処理施設に偏見があった。

それから34年が経ち、施設見学の方法も考え、口頭説明から、パソコンを使い分かりやすく説明を行い、「排育」も取り入れた施設見学を行うことで、児童も目に見えて変わっていき、また、児童から正直な感想なども聴けて、海津木苑、古賀清掃工場が従来、迷惑施設と捉えられていたところが、大切な施設と捉えられるように変わっていった。

また、古賀市内外から施設研修など以前より増えてきている。まだまだ十分ではないが、施設啓発を行っている。新たに出前講座でも、古賀市民の方に施設の大切さを分かってもらえるよう開催している。

34年間、食品加工団地内にあるが、公害が出たという話は聞いていない。今後も適正な運転を行い、公害を出さないよう管理に努め、平成34年度終了まで施設運営管理・施設啓発を行っていききたい。

[要望]

副委員長 : 決意を聞かせていただき、安心はしていないが、しっかりと取り組んでいただ

きたい。

委員の方から出たようにもう将来構想ではなく、新し尿処理施設建設に向け、最高の施設建設、また啓発に力を入れていただきたい。

16 : 25 閉会

※ 次回の運営委員会は、6月を予定しております。

以上

この会議録が正確であることを証明するため会議録署名人次に署名捺印する。

平成 年 月 日

委員長

印

委員長の指名する  
出席委員

印